科目分類	看護専門科目　領域別看護			開講時期	3 年	前期
科目名	精神看護学					
選択/必修	必修	単位数（時間数）	2 単位	30 時間	授業形態	講義演習
担当教員	石橋　佐枝子					
メールアドレス	s-ishibashi@tsuruga-nu.ac.jp（石橋）			オフィスアワー	授業前後	

授業目的	心の病気が対象者に及ぼす影響を理解し、生物学的・心理学的・社会的（バイオ・サイコ・ソーシャルモデル）を用いてその全体像を描き、治療的に自己を活用して看護ケアを提供する能力を修得する。
授業概要	この講義では事例を取り入れながら、各精神疾患の症状及び治療が生活に及ぼす影響と、対象者の安全・安寧のために必要となる看護について教授する。その上で、生物学的・心理学的・社会的モデルを用いて対象者の全体像をアセスメントし、そのストレングスを生かしてリカバリーを実現するための、効果的な看護の方法を演習する。
授業計画	1・2 回　我が国の精神医療の現状と精神保健看護の目的 3・4 回　精神保健、医療、福祉に関する関連法規 5・6 回　ストレスとマネジメント，心理社会的治療 7・8 回　統合失調症急性期における看護，精神科薬物療法① 9・10 回　統合失調症回復期における看護とオープン・ダイアローグ 11・12 回　気分障害の治療と看護，精神科薬物療法② 13・14 回　不安症における看護と認知行動療法 15・16 回　物質関連障害・嗜癖性障害群の看護と自助グループ 17・18 回　パーソナリティ障害の看護とリスクマネジメント 19・20 回　退院支援と社会生活技能訓練（SST） 21・22 回　学校、職場などにおける精神保健看護、発達障害の看護 23・24 回　精神状態とセルフケア（オレム・アンダーウッド） 25・26 回　精神看護実践のプロセス（ペプロウ、トラベルビー），ロールプレイング演習 27・28 回　ストレングスモデルと看護の展開 29・30 回　治療的コミュニケーションとプロセスレコード
教材 参考文献等	教科書：精神看護学Ⅰこころの健康と地域包括ケア　南江堂 精神看護学Ⅱ臨床で活かすケア　南江堂 参考書：斎藤環（2021）やってみたくなるオープンダイアローグ，医学書院.

成績評価 基準・方法	筆記試験 80%、授業への積極的態度を 20%を併せて総合的に評価する。 授業への積極的態度は課題レポート（内容の適切さ、根拠や意見の提示）、出席率や演習への取り組み状況について評価する。
履修要件	なし
留意事項 その他	本科目を修得していないと精神看護学実習は履修できません。 これまで学習した関連科目（臨床心理学、脳と心の科学、精神看護学概論、メンタルヘルス、コミュニケーション論など）を十分復習した上で受講してください。積極的に質問や意見を述べること。
実務経験のある 教員の教育方法	看護師としての精神看護実践、心理師としての心理療法実践, 企業や学校における相談支援の経験を活かして、主要疾患の症状・治療・看護の実際について講義および演習を行う。